

令和2年12月10日

有田市議会

議長 生駒三雄様

有田市議会 総務建設委員会

委員長 宇野博治

総務建設委員会 市内視察報告書

視察日 令和2年11月19日(木) 10:00~12:00

視察先 1. 「国道42号有田海南道路工事」について
2. 「内川(港地域)の護岸」について

出席委員 宇野博治委員長、成川満副委員長、
西口正助委員、児嶋清秋委員、岡田行弘委員、
池田敦城委員、中西登志明委員

1. 「国道42号有田海南道路工事」について

はじめに、有田海南道路・^{かれがわ}鯉川地域の工事を視察しました。

現在、1号トンネル及び3号橋を施工するために工事用の進入路の整備工事が進められていました。

将来的にはこの工事用進入路を利用し、初島町里地域と隣接している海南市^{かれがわ}下津町^{かれがわ}鯉川地域に国道42号から有田海南道路への接続路(仮称:市道^{かれがわ}鯉川有田連絡線)が整備される予定であるとの事でありました。

また、国道42号(現道)についても、星越池の一部を埋め立てることにより、新しいルートが整備され、よりスムーズな路線へと変更される予定であるとの事でありました。

次に、新堂地域における整備予定地を視察しました。

現在、有田川^{とか}を渡河する「1号橋」の工事が進められておりますが、橋を支える下部構造(橋台、橋脚)が完成し、車や人が通行する上部構造である橋桁を工場で製作中であるとの事でありました。

「1号橋」は有田川に建設中の215メートルの橋梁であり、安諦橋と保田橋の間、河口から約3.2キロメートルの位置に平成28年度から建設工事中であります。有田市との協議により、橋桁の色は「青色」となる予定であるとの事でありました。

この国道42号有田海南道路は、有田市野地域から海南市冷水地域までの延長

9.4 キロメートルのバイパス整備事業であり、国道 42 号の「渋滞の解消及び所要時間の短縮」、「災害時の交通機能の確保」、「交通事故の減少」などを目的として整備が進められているものでありますが、工事の進捗が着実に図られたことから、一部区間の開通見通しとして、令和 4 年度には有田市野地先から新堂地先の区間にある「1 号橋」が開通することにより、幅員の広い歩行空間等が確保され、自転車及び歩行者双方の安全性の向上が期待できるとの事でありました。

2. 「内川（港地域）の護岸」について

県道 173 号線（港地域）沿いを流れる内川の護岸について、視察しました。

天甫橋より下流部については県道沿いであるにも関わらず、元々擁壁の高さが不十分であるように見受けられました。

擁壁には昔ながらの石垣積みの部分が残っており、高潮時には県道側へ海水が浸透しているとの事であり、海水が出入りすることにより県道（内川側）の一部が沈下しているようにも見受けられました。

擁壁部分の一部には船着き場が設けられていますが、大潮の満潮時には船着き場を超えるような水位となることが度々見られるとの話しもあり、高潮の原因の一つには地球温暖化の影響による海水面の上昇も一因であるように思われます。

現在、市の担当者を通じて管理者である和歌山県へ要望をいただいているところではありますが、台風時等における高潮対策のために何らかの対策を講じる必要があるように思われました。